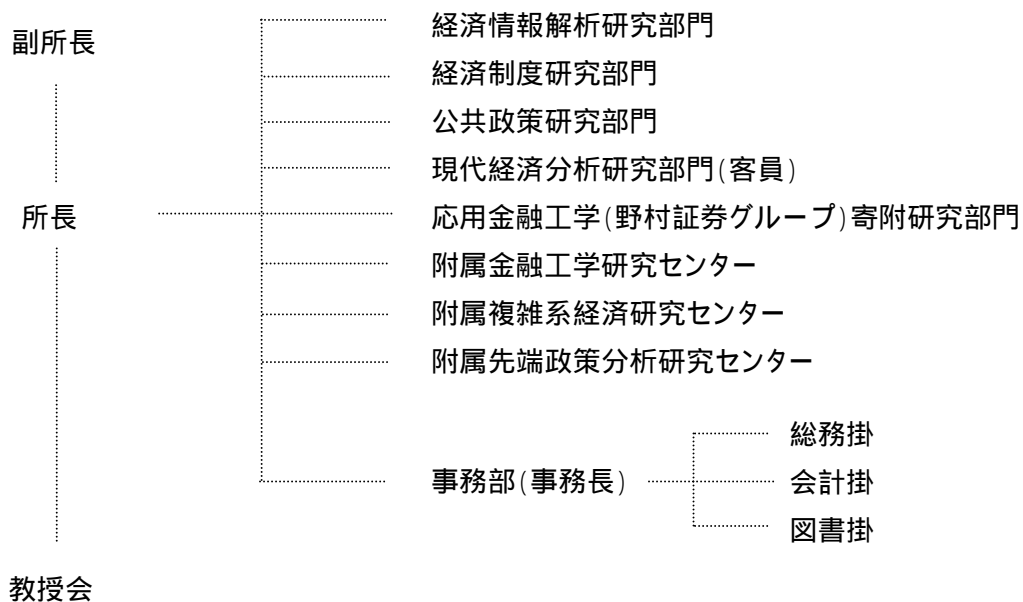


2 研究体制

2 - 1 組織

組織図



教職員数

	2003年度	2004年度	2005年度
教授	15	14	18
助教授	4	6	8
講師	2	2	2
助手	0	1	3
計	21	23	31
事務職員	10	10	9
非常勤職員	26	28	34
計	36	38	43

教員の平均年齢、勤続年数、博士号取得者

	教授	助教授	講師	助手
教員の平均年齢	51 歳	39 歳	31 歳	31 歳
平均勤続年数	14 年	6 年	2 年	1 年
博士号取得者	14 人	5 人	2 人	1 人

2 - 2 職員

所内教職員名簿(2006年3月31日現在)

所 長 佐 和 隆 光

経済情報解析研究部門

教 授 塚 谷 恒 雄 実験経済学
教 授 小 佐 野 広 ミクロ計量経済分析
教 授 照 山 博 司 マクロ計量経済分析
助教授 中 嶋 智 之 マクロ計量経済分析
講 師 花 園 誠 ミクロ計量経済分析

非常勤講師 上 東 貴 志 マクロ動学と動的最適化 (神戸大学経済経営研究所 教授)
非常勤講師 小 西 秀 樹 公共経済学 (東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授)

技術補佐員 上 田 真 子
事務補佐員 浅 井 裕 子

経済制度研究部門

教 授 上 原 一 慶 制度の経済分析
教 授 坂 井 昭 夫 組織の経済分析
教 授 溝 端 佐 登 史 制度の経済分析
助教授 関 口 格 ゲーム理論
助教授 原 千 秋 ゲーム理論

非常勤講師 丸 川 知 雄 中国経済 (東京大学社会科学研究所 助教授)
非常勤講師 岩 崎 一 郎 移行経済論、経済体制論 (一橋大学経済研究所 助教授)
非常勤講師 岡 田 章 ゲーム理論 (一橋大学大学院経済学研究科 教授)

事務補佐員 西 村 法 子
技術補佐員 堀 部 恵 美 子

公共政策研究部門

教 授 今 井 晴 雄 資源環境政策
教 授 有 賀 健 財政金融政策
助教授 浅 田 彰 国際公共政策
講 師 宇 南 山 卓 財政金融政策
助 手 松 岡 巖 資源環境政策

非常勤講師 秋田次郎 地球温暖化対策の経済学 (東北大学大学院経済学研究科 教授)
非常勤講師 黒澤昌子 人的資源管理諸策と生産性 (政策研究大学院大学政策研究科 教授)

技術補佐員 木下典子
事務補佐員 山本理恵

現代経済分析研究部門(客員研究部門)

客員教授 刈屋武昭 応用金融工学の研究
(明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科 専任教授)
客員助教授 本多俊毅 応用金融工学の研究
(一橋大学大学院国際企業戦略研究科 助教授)

応用金融工学(野村証券グループ)寄附研究部門(客員研究部門)

客員教授 加藤康之 リアルオプション価値評価法、事業リスク評価法の研究
(野村証券株式会社金融研究所 投資技術研究部長)
客員教授 太田聡一 応用金融工学の研究
(名古屋大学大学院経済学研究科教授、慶應義塾大学経済学部教授)

金融工学研究センター

教授 佐和隆光 金融工学
教授 柴田章久 資産市場
教授 梶井厚志 コーポレート・ガバナンス
教授 西山慶彦 ファイナンス
外国人研究員(客員助教授) ティー・キャン・ヘーン 国際金融経済研究領域
外国人研究員(客員教授) クラフチェック・ヤセク・ポージャン 国際金融経済研究領域
外国人研究員(客員教授) レオニッド・コサルス 国際金融経済研究領域
外国人研究員(客員助教授) オリビエ・テルシュ 国際金融経済研究領域
外国人研究員 スワパン・ダスグプタ 国際金融経済研究領域

非常勤講師 谷口正信 金融時系列解析の漸近理論 (早稲田大学理工学部教授)
非常勤講師 大橋和彦 構造アプローチによるエネルギー商品の価格決定
(一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授)

事務補佐員 楠林暁子
技術補佐員 山本さら佐

複雑系経済研究センター

教授 藤田昌久 空間経済学
教授 西村和雄 複雑系経済学
教授 新後閑 禎 経済動学
助教授 森 知也 空間経済学

非常勤講師 下村 和雄 動学的国際貿易理論 (神戸大学経済経営研究所 教授)
非常勤講師 佐々木 公明 都市空間構造の経済分析(東北大学大学院情報科学研究科 教授)
非常勤研究員 藤井 由枝 経済理論:財政理論における均衡の決定性を分析する
非常勤研究員 松尾 美紀 経済理論:マクロ動学モデルにおける均衡の不決定性の分析を行う

技術補佐員 中村 有希
技術補佐員 中野 亜紀

先端政策分析研究センター

教授 一方井 誠治 グローバル・ポリシー
教授 児玉 俊洋 コミュニナル・ポリシー
教授 丸谷 浩明 コミュニナル・ポリシー
助教授 北浦 修敏 ファイナンシャル・ポリシー
助教授 渡部 良一 グローバル・ポリシー
助手 阿部 光敏 グローバル・ポリシー
助手 石川 大輔 グローバル・ポリシー

産学官連携研究員 小倉 義明
産学官連携研究員 大堀 秀一
産学官連携研究員 中川 真太郎

教務補佐員 木下 信
教務補佐員 齋藤 隆志
教務補佐員 佐野 浩
教務補佐員 坪田 建明
教務補佐員 中村 良太
事務補佐員 江上 亜紀
事務補佐員 木村 真里
事務補佐員 森下 都

研究部門

研究員(COE) 近藤 豊将
教務補佐員 田宮 すみ恵
技術補佐員 日野原 伸生
技術補佐員 中戸 隆一郎
教務補佐員 早田 雄一
教務補佐員 川上 充洋
事務補佐員 清水 節子
事務補佐員 脇阪 千夏

事 務 部

事務長 八木 隆
 総務掛 岡田幸美(掛長) 桂 東美(主任) 平野彰人(主任) 原 彰子(掛員)
 会計掛 山本嘉信(掛長) 中西瑞穂(主任) 藤井園子(事務補佐員)
 片山 肇(事務補佐員) 池田康代(派遣職員) 山口ヨシ江(臨時用務員)
 図書掛 岡野拓也(掛長) 船越清美(掛員) 白田容子(事務補佐員) 中江 章(事務補佐員)

教員の選考基準、選考方法及び人員配置

教授、助教授、講師、助手、客員研究部門教員及び寄附研究部門教員の選考基準は、内規及び所内申し合せによってその大綱を定めている。

申し合せに挙げられた教授候補者の基本的な基準は、「国際的評価に耐えうる優れた実績のある研究者を、研究所内外の幅広い範囲にわたって考慮すること」となっている。具体的な手続きに変遷はあるものの、この基準ならびに方針は、当研究所設立当初よりの伝統である。他の職に関する基準も、その職の性質により、将来性、ならびに研究所への貢献などの視点が加味されるものの、基本的な指針は、前述の教授選考基準に準じる。

また、所内からの昇任の場合は、国内外の専門家3名からの推薦状を必要とする。

それぞれの職に対する選考の手続きは、基本的な内容は同様であるが、それぞれの性質に応じて、例えば、客員研究部門の人事に関しては機動性が必要であることなどの理由により差異を設けている。

これらについては、下記の資料に示した。

職名	選考方法
教授	人事委員会からの申し出により、所長が教授会へ提案 教授会において基本方針の決定、推薦委員会の設置 推薦委員会より教授会へ候補者を推薦 次回教授会において決定
助教授	人事委員会からの申し出により、所長が所員会議へ提案 所員会議において基本方針の決定、推薦委員会の設置 推薦委員会より所員会議へ候補者を推薦 次回所員会議において候補者を決定し、教授会に推薦 次回教授会において決定
講師	人事委員会からの申し出により、教授会において講師任用を承認 所員会議において基本方針の決定、選考委員会の設置 選考委員会より所員会議へ推薦 次回所員会議において決定
助手	人事委員会からの申し出により、所員会議において助手任用を承認 指導担当予定教授から推薦(または公募) 所員会議が選考委員会を設置 選考委員会において候補者を審査し、所員会議へ結果報告 次回所員会議において決定
客員研究部門教授・	所長からの提案により、教授会において基本方針の決定

助教授	所員会議が選考委員会を設置 選考委員会において候補者を審査し、所員会議へ結果報告 次回所員会議において決定 教授会において承認
寄附研究部門教員	教授・助教授・助手と同じ

なお、研究所内の教員配置は人事委員会からの提案を基に、部門・センターを越えた研究所全体の研究計画に沿って行う。

教員の異動

2005年 4月1日

明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科刈屋武昭専任教授を教授(客員教授)に任命
一橋大学大学院国際企業戦略研究科本多俊毅助教授を助教授(客員助教授)に任命
名古屋大学大学院経済学研究科太田聡一教授を教授(客員教授)に任命

2005年 6月6日

レオニッド・コサルス(ロシア科学アカデミー社会経済人口問題研究所上席研究員)を客員教授に採用
(雇用期間 2006年 5月 31日まで)

2005年 7月1日

梶井厚志教授を附属先端政策分析研究センター長に併任
児玉俊洋教授(特別教育研究教授)採用
北浦修敏助教授採用

2005年 7月11日

渡部良一助教授採用

2005年 7月14日

一方井誠治教授採用

2005年 7月16日

丸谷浩明教授採用

2005年 8月1日

阿部光敏助手(産学官連携助手)採用
石川大輔助手(産学官連携助手)採用

2005年 9月7日

オリピエ・テルシュ(ティルパーク大学助教授)を客員助教授に採用(雇用期間 2005年 12月 6日まで)

2006年 1月10日

スワパン・ダスグプタ(ダルハウジー大学教授)を外国人研究員に採用(雇用期間 2006年 3月 15日まで)

2006年 3月31日

佐 和 隆 光 教授定年退職
花 蘭 誠 講師辞職
松 岡 巖 助手辞職

応用金融工学(野村証券グループ)寄附研究部門(2001年10月1日創設)

加藤 康之 (野村証券株式会社金融研究所 投資技術研究部長) (客員教授)

「リアルオプション価値評価法、事業リスク評価法の研究」

太田 聡一 (名古屋大学大学院経済学研究科、慶應義塾大学経済学部教授) (客員教授)

「リアルオプション価値評価法、事業リスク評価法の研究」

招へい外国人学者

斉 玲 (中国河南大学経済学院 教授)

「経済成長論に関する研究」

(2002年10月11日～2004年3月31日)

「内生的出生率を持つ動学的モデルに関する研究」

(2004年4月1日～2006年3月31日)

キホ・ジョン (慶北国立大学経済貿易学部 教授・学部長)

「ノンパラメトリック Granger 因果生の検定に関する共同研究」

(2005年3月22日～2005年4月30日)

オジュワルド・エヴァ (ハンガリー科学アカデミー経済研究所 上級研究員)

「拡大欧州と市場経済移行における企業組織・制度変化に関する研究」

(2005年11月3日～2006年11月20日)

外国人共同研究者

チョルパン・メジエツ アスリ (日本学術振興会外国人特別研究員)

「日本の繊維企業の技術投資と国際競争力の再構築」

(2004年4月1日～2006年3月31日)

チャン・ハン ビ (日本学術振興会外国人特別研究員)

「セーフティネットと日本の金融機関再建」

(2004年9月1日～2006年8月31日)

エレナ・アントノーワ (日露青年交流事業若手研究者フェローシップ)

「地球環境問題への社会・経済システムの接近 露日比較を通して」

(2005年11月21日～2006年11月20日)

非常勤講師

上 東 貴 志 (神戸大学経済経営研究所 教授) マクロ動学と動的最適化

小 西 秀 樹 (東京工業大学大学院社会理工学研究科 教授) 公共経済学

丸 川 知 雄 (東京大学社会科学研究所 助教授) 中国経済

岩 崎 一 郎 (一橋大学経済研究所 助教授) 移行経済論、経済体制論

岡 田 章 (一橋大学大学院経済学研究科 教授) ゲーム理論

秋 田 次 郎 (東北大学大学院経済学研究科 教授) 地球温暖化対策の経済学

黒澤昌子（政策研究大学院大学大学院政策研究科 教授） 人的資源管理諸策と生産性
谷口正信（早稲田大学理工学部教授） 金融時系列解析の漸近理論
大橋和彦（一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授）

構造アプローチによるエネルギー商品の価格決定

下村和雄（神戸大学経済経営研究所 教授） 動学的国際貿易理論
佐々木公明（東北大学大学院情報科学研究科 教授） 都市空間構造の経済分析

非常勤研究員(研究機関研究員)

藤井由枝 経済理論の中でも、財政理論における均衡の決定性を分析する
松尾美紀 経済理論の中でも、マクロ動学モデルにおける均衡の不決定性の分析を行う

COE研究員

近藤豊将

日本学術振興会特別研究員

小川貴之

「合理的習慣形成に伴う景気変動及び不況下の世代重複経済における経済政策の理論分析」
(2005年4月1日～2006年3月31日)

河合啓一

「集団における能力の学習過程に関する行動経済学的アプローチ」
(2005年4月1日～2008年3月31日)

後閑利隆

「東アジアにおける地域統合と生産活動の集積：空間経済学の視点からの理論と実証」
(2005年4月1日～2007年3月31日)

チョルパン・メジエツ アスリ

「日本の繊維企業の技術投資と国際競争力の再構築」
(2004年4月1日～2006年3月31日) (外国人特別研究員)

チャン・ハンピ

「セーフティネットと日本の金融機関再建」
(2004年9月1日～2006年8月31日) (外国人特別研究員)

研 修 員

孫 一 萱

「中国の財政・税制に関する研究」
(2005年4月1日～2006年3月31日)

桑原史郎

「経済成長論の理論分析の研究」
(2005年4月1日～2006年3月31日)

2 - 3 予 算

運営費交付金

単位(千円)

項 目	年 度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
人 件 費		379,475	338,972	369,281
物 件 費		116,803	118,855	106,719

科学研究費補助金

単位(百万円)

研究種目	年 度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
	特別推進研究	件数	1 / 1	0 / 1
	金額	42	0	0
特定領域研究	件数	1 / 1	1 / 1	0 / 0
	金額	10	6	0
基盤研究	件数	11 / 11	9 / 11	6 / 8
	金額	41	42	29
萌芽的研究	件数	0 / 0	0 / 0	1 / 3
	金額	0	0	1
若手研究	件数	1 / 1	3 / 5	5 / 6
	金額	1	10	7
計	件数	14 / 14	13 / 18	12 / 17
	金額	94	58	37
教員一人当たり採択件数		0.66	0.56	0.50

件数欄は、交付決定件数 / 申請件数

研究拠点形成費補助金(21世紀 COE)

単位(千円)

名 称	年 度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
先端経済分析のインターフェイス拠点の形成		97,000	114,100	100,200

その他の外部資金

単位(千円)

項 目	年 度	2003 年度	2004 年度	2005 年度
民間等との共同研究	件数	1	1	1
	金額	0	0	0
寄 附 金	件数	8	3	5
	金額	47,880	41,500	42,275
受 託 研 究 費	件数	0	1	6
	金額	0	9,100	55,920
計	件数	9	5	11
	金額	47,880	50,600	98,144

2 - 4 図書

図書蔵書数

(2006年3月31日現在)

区分	図書冊数	雑誌種類数
和書	40,210 冊	1,932 種
洋書	36,053 冊	495 種
合計	76,263 冊	2,427 種

マッケンジー文庫

蔵書数 1,157 冊

ライオネル・マッケンジー ロチェスター大学名誉教授から、その蔵書を京都大学経済研究所に寄贈された。マッケンジー教授は、アメリカのデューク大学を卒業後、プリンストン大学大学院で学び、経済学の修士と博士を取得し、MIT、デューク大学を経て、1957年に、ロチェスター大学に教授として就任して以来、ロチェスター大学を退職するまでの実に32年の長きに渡って、研究者の育成に努めた。来日する度に、経済研究所のセミナーで講演や講義を行い、経済研究所の主催する国際シンポジウムに来日し、出席するなど、本学との関係も深く、その関係で、2003年10月に、その膨大な蔵書を経済研究所に寄贈された。マッケンジー教授の弟子が世界中で活躍し、かつ日本でも、マッケンジー教授の弟子が、教えている大学が、多くありながら、特に、京都大学経済研究所に蔵書を寄贈されたことは、経済研究所にとって、この上ない名誉なことである。これを機会に、経済研究所では、研究所内にマッケンジー・ライブラリーを開設し、京都大学の教員と学生の研究水準の向上に役立ち続けることになった。

2 - 5 敷地と建物 (2006年3月31日現在)

敷地	京都市左京区吉田本町(京都大学本部構内)	2,208 m ²
建物	鉄筋コンクリート4階建	建面積 695 m ² 延面積 2,916 m ²

2 - 6 東京分室

2004年4月、経済研究所東京分室が東京駅前丸の内(三菱ビル9階)に開設された。

東京分室内には4つの部屋が設けられ、金融工学研究センター客員教授室、会議室、応接室、秘書室として利用されている。会議室にはテレビ会議システムが設置されており、京都大学-東京分室間での遠隔会議、東京で活躍する講師による遠隔講義などを行っている。また、会議の開催や教職員の出張時の打合せ場所として、多目的に活用されている。

東京分室では、応用金融工学に係る研究を行っており、主な研究テーマとしては、企業の価値創造と事業リスクマネジメント、リアルオプション、企業がバナンス、不動産金融工学及び天候リスクが挙げられる。また、金融工学的アプローチに基づいた年金・保険制度設計への将来展望に関する研究では、学内外のさまざまな分野の専門家が

集まり、最先端の研究に取り組んでいる。

さらに、研究成果を社会に発信するため、毎年 3 月に、国内外から著名な研究者を招待し、シンポジウムを開催している。